

災害・緊急医療機器標準化支援事業

検討会レポートⅣ

事務局 中部オフィス 高橋 弘章

第4回目の検討会レポートは、2013年3月25日「災害・緊急医療機器 提案発表会」についてご報告致します。

提案発表会では、「災害・緊急医療現場の今、そして今後」について愛知医科大学病院高度救命救急センター 救急救命士 小澤和弘様よりご講演頂き、その後に産学官の連携で進めてきました本活動の紹介と試作品の展示を日進医療器様と弊社チーフ・コンサルタント渡部がご紹介し、そして独自に産学の連携にて製品開発を手掛けられましたアテナ工業様にも製品開発の経緯や商品紹介をして頂きました。最後に中部経済産業局 地域経済部 次世代産業課長 林正実様から「医療産業発展への思い」を発信頂きました。



小澤和弘様 ご講演

小澤様からは、東日本大震災、阪神大震災など過去の災害からの教訓や現場の被災状況、震災時医療ニーズ、そして危機の高まる南海トラフ（東海・東南海・南海地震）での災害予測について具体的にご紹介頂きました。

ご講演を踏まえ、日進医療器様からは災害・緊急医療機器の商品紹介を、弊社チーフ・コンサルタント渡部からは市場調査から試作品開発までの検討プロセスについて重要となるポイントの説明を致しました。また、アテナ工業様には心肺蘇生訓練キット「スクーマン」の開発における検討プロセスや今後の課題についてご紹介頂きました。参加者の方々は実際に試作品に触れたり、「スクーマン」においては蘇生体験をすることで驚きや感心の声に包まれていました。参加者からは「医療機器の開発の幅が広がった」との声も上がりました。

今回の提案発表会は活動報告の場でもありますが、発表を通して、災害・緊急医療機器の開発を担っていく企業を増やしていくことも重要な役割の一つでした。林様からも企業の積極的な参入を望む声を頂きました。

これまで検討の進め方を3回のレポートでご紹介致しましたが、いち早く情報を集め、短期間でも深い検討を重ね、製品開発を進めていくことが非常に重要であると感じています。そのためにも多くのネットワークを駆使し、活動のスピードアップを図っていくことが必要なのではないでしょうか。



日進医療器様
災害・緊急医療機器のご紹介



アテナ工業様
心肺蘇生訓練キット「スクーマン」のご紹介

■ 本事業に関するご紹介はこちらから >> http://www.jmac.co.jp/special/health_care/